

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		市設置型浄化槽整備使用料徴収事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050503000130
						単独/補助	単独	所属課	070101
政策体系	総合計画の施策名	0505 下水道の整備						課長名	下水道課
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	下水道G
	施策名	05 下水道の整備						担当者名	
	手段名	03 ③安定した経営							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	農業集落排水事業特別会計		
	04	02	01	01	02	00	市設置型浄化槽整備事業		
法令根拠	桜川市市設置型浄化槽の設置及び管理に関する条例					単年度繰返し (平成18年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>桜川市市設置型浄化槽設置及び管理に関する条例に基づく使用料で、基本料金と人数割で積算して賦課する。徴収業務は水道課に委託しており、平成31年1月より、外部委託され(水道課で契約)下水道課は26%を負担金として支払っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部委託業者と調整し、当該年度の使用料額のお知らせ及び減免申請の手続き・移動処理・滞納整理を実施。 年6回の賦課、徴収、督促

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
当該年度の使用料額のお知らせ及び減免申請の手続き	調定件数	件	495.00	500.00	500.00	500.00	500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市設置型浄化槽事業で設置した世帯	使用世帯	世帯	495.00	500.00	500.00	500.00	500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
維持管理費の費用確保	収入金額	千円	27,680.00	27,314.00	27,000.00	27,000.00	27,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	350	350	350
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	13	817	859
		事業費計(A)	千円	363	1,167	1,209
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	12 役務費	52	12 役務費	83
	19 負担金補助及び交付金	1,115	19 負担金補助及び交付金	1,126
	合計	1,167	合計	1,209

事務事業名	市設置型浄化槽整備使用料徴収事業	事務事業No.	50503000130	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年度に事業を開始した、当初より負担金、使用料を設定し徴収方法は水道事業と同じに徴収している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 使用料金は公共下水道、集落排水事業と統一化が可能か、負担金は公共下水、集落排水と比較すると浄化槽設置が安い。工事代金は定額であるが使用料を支払うのは、自己管理より高額である場合もある。適正な維持管理を継続していく。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 使用者から使用料を徴収し適切な事業経営ができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 浄化槽は市で維持管理して水質浄化をしている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 外部委託を実施したことにより、収納率向上及び人件費の削減が図れた。外部委託業者と連携し更なる収納率向上を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業の廃止は、ライフラインの維持を図るため不可能である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 平成20年4月より、水道料金と下水道使用料が同時徴収になった。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 徴収業務は、外部委託しており、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 条例に基づき、使用者から負担金を徴収しているので、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	上下水道部内でデータの共有化を図ることによって効果的な徴収業務をおこなえた。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 外部委託業者と連携し、収納率向上を図る必要がある。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A : 継続(現状維持) C : 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B : 継続(改革改善を行う) D : 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	